第5学年　総合的な学習の時間　令和７年度　実践版

単元名「出会い・発見プロジェクトー南魚沼―」（70時間）

領域：情報・(環境)・伝統文化・福祉・国際理解・(食育)・(キャリア)・安全　(教科横断発展)・(地域とのつながり)・(市民科との関連)

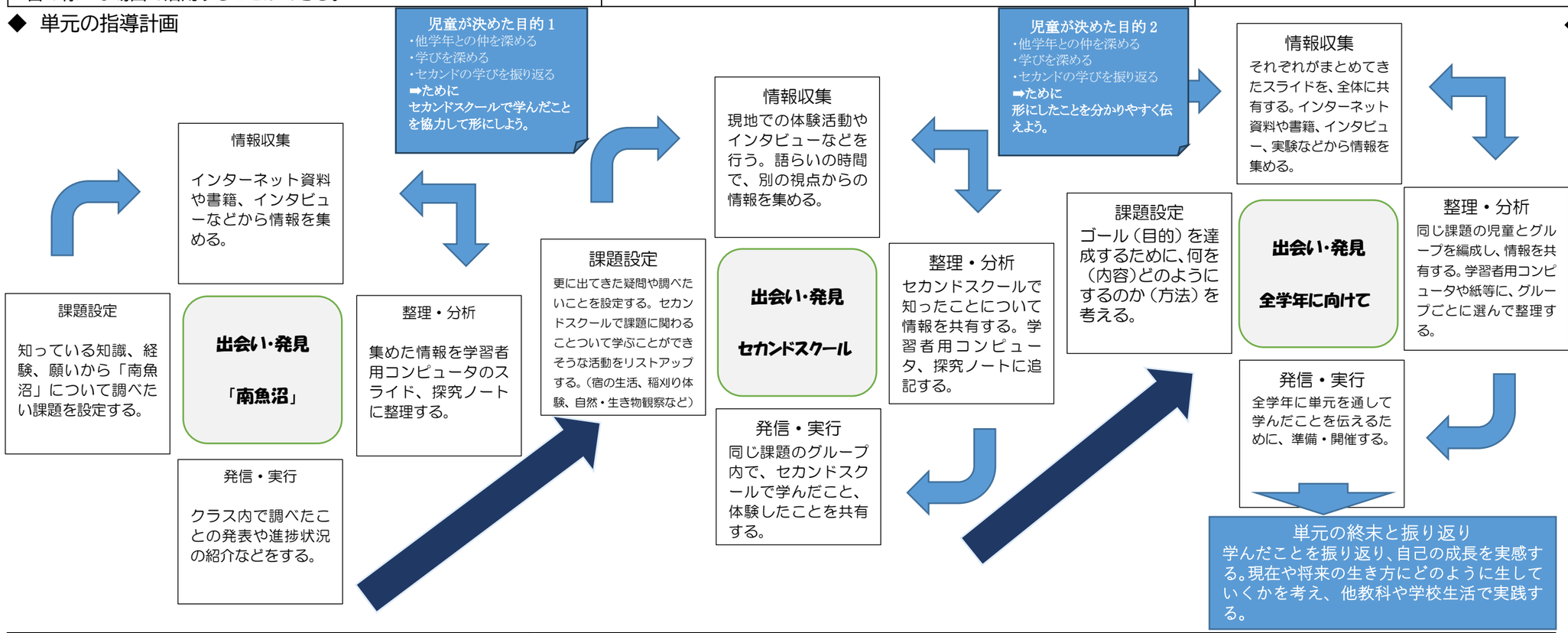
【単元の目標】
「南魚沼」について調べる中で、生産地の環境や文化のよさ、特徴、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることを理解し、生活や体験などから問いを見いだし、課題設定、情報収集、整理・分析、発信・実行の過程を通して、地域に愛着をもち、積極的に社会貢献・社会参画しようとする態度を育てる。

【学習時期・年間の見通しなど】
・7 月～3月まで
1 月後半に、出会い発見「全学年に向けて」発信実行予定

◆ 単元を通して育成する資質・能力

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
・社会は地域の自然や文化のよさを生かしながら多くの人々が関わり合って形成していることや人々はよりよい社会を作ろうと工夫や努力をしていることに気付くことができる。 ・探究の過程においてICT機器や思考ツール等、課題解決の技能を習得し、学習の様々な場面で活用することができる。	・生活や体験の中から思いや願いを基に課題を設定することができる。 ・目的に合った手段を選択し、情報を収集することができる。 ・必要な情報を整理し、分析・考察することができる。 ・学んだことを相手や目的に応じて分かりやすく表現することができる。	・他者の考えを受け入れ、自分の考えや活動に生かそうとする。 ・問題意識をもち、友達と協働してよりよく課題を解決しようとする。 ・学んだことを基に、現在や将来の生き方を考え、実践しようとする。

◆ 単元の指導計画



学習の様子	○1 学期の学習を振り返り、(1 学期の学習後、児童から「友達と協力して課題に取り組みたい。学年で、大きな企画に取り組みたい。」という意見が多くあった。)学年全員が体験予定の南魚沼を大きなテーマと設定した。 ○願いや思いを基に学習を進める教科であると確認した上で、セカンドスクールで行く南魚沼についての思いや興味について話した。 【課題例】　・南魚沼の地形　・南魚沼の気候 ・南魚沼の文化　・南魚沼の米の魅力　・南魚沼の動物 ・南魚沼の植物　・南魚沼の暮らしなど	○セカンドスクールの語らいの時間の中で、生活のことに加えて、自分の課題について学んだことを共有した。 ○セカンドスクールで知ったことや考えたことを学習者用コンピュータや探究ノートに整理し、クラス内・学年内で共有した。 ○整理・分析からは、司会・記録の立候補者を募り、学年で総合的な学習の時間を設定し、話し合いを進めてきた。	○年間を通して学んだことや考えたことから、まとめに向けた課題を設定する。 ○課題を共有しながら、同じ課題をもつ友達と協働して、情報収集、整理・分析する。 ○発信・実行のために、学年全体で協働して、表現方法を考える。 ○1年間の学び（出会い・発見）を他学年に伝えることを通して、学びと絆を深めよりよい五小にしていこうとする意識を高める。

◆ カリキュラムの関連について

※やりとりを通して、考えを深められるように、いくつかの表現方法から、目的や状況に応じて選択できるようにする。

社会科との関連
・「寒い土地のくらし」「米づくりのさかんな地域」と関連付け、気候や地形と米作りの関係について知り、自然や環境と生活が関わっていることに気付く。

理科との関連
・「植物の発芽と成長」、「植物の実や種子のでき方」で、稲の実や種子のでき方について学ぶ。

家庭科との関連
・「クッキングはじめの一歩」「食べて元気に」で調理の意義や米の炊き方、米の栄養素などについて学ぶ。

国語科との関連
・「よりよい学校生活のために」で、話し合いにより友達と協働して解決する方法を知る。
・提案したいことがある場合には、提案書に目的や内容、方法を記入し、情報を共有する必要があることを学ぶ。
・「目的に応じて引用するとき」「統計資料の読み方」で、必要な情報を資料から読み取り、活用する方法について学ぶ。

特別活動との関連
・学級会で、みんなが心地よく過ごすための課題を見いだし、話し合いを通して合意形成をする方法を学ぶ。
【学級活動】
・セカンドスクールにおいて、自己の課題について調べたり体験したりして情報を整理したり、友達と協働してよりよく解決したりする方法を学ぶ。
【学校行事】